

2015年 早稲田大学 スポーツ科学部 国語解答例

(一)

[出典] 藤井聡「『交通』を追い抜いた『情報』の弊害」(「発言者」2014年5月号掲載・後半部分省略)

[解答]

問一 A イ B ニ 問二 a ロ b ニ 問三 ロ 問四 ハ  
問五 ハ 問六 イ 問七 ロ

(二)

[出典] 大森荘蔵「「後の祭り」を祈る一過去は物語り」(『時は流れず』所収)

問八 イ 問九 ロ 問十 ハ 問十一 ロ 問十二 ロ  
問十三 ニ 問十四 ロ

(三)

[出典] (古文) 阿仏尼『うたたね』(途中に大幅な省略がある)

(漢文) 白居易「聞夜砧」「上陽白髮人」(漢詩)

問十五 ロ 問十六 ホ 問十七 イ 問十八 ニ 問十九 イ  
問二十 ロ 問二十一 ハ 問二十二 ホ 問二十三(1) ハ  
問二十四(1) イ (Ⅱ) ロ 問二十五 ニ

[講評]

(一)(二)が評論、(三)が古漢融合問題という形式は昨年度と変わらない。昨年度まで出題されていた、スポーツをテーマとする評論が今年度は出題されなかった。

(一)は、文章自体読みやすく、設問も選択肢が紛らわしいものがほとんどなく、比較的解きやすい問題であった。中では、問三が傍線部の前後に直接的なヒントがなく、文章全体を読んだ上で解答する必要がある問題になっていた。

(二)は、(一)と比べて文章自体はわかりにくかったかもしれないが、設問は解きやすいものが多かった。「過去」のとらえ方に関する一般的な考えと作者独自の考えの相違をつかむことが肝心である。

(三)の「古文」は、時おり出題される出典。「作者の若き日の失恋体験を綴った日記」という知識がないと、やや読みにくかったかもしれない。設問は、広い意味で和歌に関わる問題が目立つ。問十五は引き歌、問十九は和歌の解釈、問二十は修辞技法がそれぞれ問われている。

「漢文」は、漢詩が出題された。問二十三(1)はごく基礎的な問題。問二十四、問二十五は「古文」と「漢文」の内容や表現上の対応が問われていてやや難しい。

2015年 早稲田大学 スポーツ科学部 英語解答例

I (1) 1-C 2-B 3-A 4-A 5-A 6-D  
(2) 1-A 2-D 3-C  
(3) 1-C 2-B 3-A

II (1) 1-J 2-B 3-D 4-H 5-G 6-C 7-I  
(2) 1-D 2-A 3-B  
(3) 1-A 2-D 3-D  
(4) 1-C 2-B 3-B 4-B

III (1) B, C, F, G  
(2) 1-D 2-A 3-B 4-D  
(3) D

IV 1-D 2-C 3-D 4-A 5-C

V 1-B 2-B 3-C 4-B 5-C

※コメント 出題形式・難易度ともに昨年とほとんど変わらない。長文に関しては、難度の高い語彙も含まれているが、文章自体は、さほど難解ではない。文法問題も基礎力が問われる。